

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	グラフィックデザイン実習2B	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名	全	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	加藤 陽一	実務経験の有無・職種	有・グラフィックデザイナー		
学習目的					
<p>タイポグラフィ、ピクトグラム等の制作を通じ、情報をグラフィカルに表現する技術を学ぶ。PCを用いたグラフィックデザイン全般のデータ作業の基礎を学ぶと共に、データ制作のノウハウ、目的と用途に応じて求められている情報を整理した上で、教員と学生間でのコミュニケーションをとりながら作業を行なっていく。他者に明確な説明伝達をする練習として、担当教員とのやりとりをシームレスに行い、デザイナーとしての初歩的な素養を身につけることを目的としている。</p>					
到達目標					
<p>この科目ではグラフィックデザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Mac OS・Adobe Illustrator・Photoshopに慣れ親しみ、デザイン作業に必要な初歩的なアプリケーションの操作方法を理解できる。 ・グラフィックデザインの基礎的な印刷知識・画像編集の知識・技術の理解を深めることができる。 ・課題内容を理解し、自分で発案・提案を行い、制作した「課題」を「言葉」で伝えられるようになることができる。 					
教育方法等					
授業概要	<p>身の回りで実際に使用できることを前提とした課題制作を行う。</p> <p>主にグラフィックデザイン主体の解説になるが、一般的な情報～最先端の実務での実情を踏まえたワークフローを解説し、実生活や社会での応用方法を伝える。また、課題ごとに取り組みたい「新しい観点」なども学生と講師で話し合いを行い、課題に活かせる対話をし実践して、デザインの、ものづくりの奥深さや楽しさを感じ取れるようになる。</p>				
注意点	<p>クラス＝デザイン制作室という認識をもってより良いデザイン制作に必要な学生間・教員と学生のコミュニケーションと制作プロセスを重視する。授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	作文・課題	50%	課題を総合的に評価する		
	ワークシート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画(1回～15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	編集とデザイン①	「書体見本帳」(A4縦型/40P構成)の制作ができる			
2回	編集とデザイン②	「書体見本帳」(A4縦型/40P構成)の制作ができる			
3回	編集とデザイン③	「書体見本帳」(A4縦型/40P構成)の制作ができる			
4回	編集とデザイン④	「書体見本帳」(A4縦型/40P構成)の制作ができる			
5回	編集とデザイン⑤	「書体見本帳」(A4縦型/40P構成)の講評を聞くことができる			
6回	タイプフェイスデザイン①	「欧文書体 大文字と小文字」の制作ができる			
7回	タイプフェイスデザイン②	「欧文書体 大文字と小文字」の制作ができる			
8回	タイプフェイスデザイン③	「欧文書体 大文字と小文字」の制作ができる			
9回	タイプフェイスデザイン④	「欧文書体 大文字と小文字」の講評を聞くことができる			
10回	小型グラフィック①	「年賀状(封書タイプの想定)」の制作ができる			
11回	小型グラフィック②	「年賀状(封書タイプの想定)」の制作ができる			
12回	小型グラフィック③	マッチラベル(4種)の制作ができる			
13回	小型グラフィック④	マッチラベル(4種)の制作ができる			
14回	小型グラフィック⑤	マッチラベル(4種)の制作ができる			
15回	総合復習・講評	各課題の総合的なデータのまとめと復習ができる			